

# 金ヶ崎夜間学校の

## 新たな出発に向けて

「仮称」ではあるが

金ヶ崎夜間学校は、一九八〇年五月（仮称）という形容詞を脱し冠してサ一回を始める以来、はや三年目に入っています。この「仮称」といふ言葉を付したなかには、次のように大きな意味があったと自負しています。この夜間学校は、学校と名づけられたものの他に「わがま学校」とは違ふんだ、二二二は教えるくれる先生もいないし、教える方ももう生徒もいない、みんなが対等の立場で我々日雇労働者に對するいろいろな問題を話し合い、みんなでも考え、学び、解決の道をたぐっていくという、これこそが真の学校なんだ。二二二のような意味付けがその都度の集まりごとでたゞ実を結び得たかは、深く反省しなければなりません。夜間学校の名もいちおう定着した今、四月からの新たな出発にあたり、二つまでも「仮称」はなかつと、先の自負には変のいなく、「仮称」を取っ放しというところになりました。

### 「仮称」の経緯……

金ヶ崎夜間学校は当初から、その目的・方向を次のように考えています。私たちが金ヶ崎で生活していくなかで、あるいは日雇労働者として折くなかで、誰もがいろいろな問題にぶつかっていることこそ考えながら日々過してきます。

……なんでこんな朝早くから探さんと仕事でありつけんのやろか。なんでここの長時間拘束されなあかんのやろか。なんでデスクはこつてもやいなやろか。現場でケガでもしたらどうなるこつ

か。病気があったら、こつても病気をかたげんやもない。二二二は年がいったらんやろにやないやろか等々。他にもいろいろ個人で、一人だけ上の問題のちと見えて、実をみえるの問題があるというやいなやろが私たちが多くあつて。二二二のような問題を出来るかまて具体的に解決していくために、二二二の意味についてのみかたは向なのか、根っこにあるもの・原因は何なのか、私たちの真に二二二方向をいへんやないか、どうすれば少しでも解決近づけるのかを、みんなの経験と知識とを持ち寄って、どうも学び考えて二二二。そのための自由に話し合える場が、二二二の金ヶ崎夜間学校であると考えています。

### 新たな出発に向けて

二二二の二年間、労務・医療・歴史と内容の大きな柱として、前回の夜間学校で計七二回の集まりを持ちました。しかし、正直いって、内容の盛り上がりや発展・継続性などは二二二というがあまりありません。そこで、多くの仲間の見解を参考にしながら、四月一日から三ヶ月間をサ一期として、二二二のテーマを十分に深めるために二ヶ月かけて話し合うことにしました。この新たな出発にあたり、今まで参加した二二二のないう人も気軽に顔を出して下さい。一人でも多くの仲間の参加を期待しています。

一九八二年三月三十一日

金ヶ崎夜間学校

西成区萩尾二一八-十八 喜望の東方

ごんわ 六四七-二九四六

みんななでつくる みんなのひろば

# 飯釜ヶ崎夜間学校の歩み

## 集まり話すことから

一九八〇年五月二十九日に、**夜間学校の第一回目**が開かれました。主役となったすすめていく飯釜ヶ崎の病気についてレガテーマで十数名が集まりました。以後回を重ね七二回を終え、二周年を迎えることとなりました。初めの十回ぐらいいまでは、なかなか仲間の参加が少なく十分な話し合いが出来ませんでした。だいに夜間学校の存在と評判(?)が知られるようになり、テーマをいくつか絞ってある程度掘り下げていくことも出来るようになりました。

## 働く・くらし・学び

われわれがとりあげたテーマは、働くことについてへ**労働・仕事・元氣**にくらすことへ**医療・健康**について。そして**歴史や文化を学ぶこと**の三本立てでした。これらはシノグことです。

### 労働について

- 「**日雇健康保険**を考える」
- 「**労働災害**を考える」
- 「**雇用保険（白手帳）**を考える」
- 「**人夫出し**を考える」
- 「**日雇労働**について賃金未払い不払いに条件違反
- 「**どう対処**するか」
- 「**悪質飯場と労働者の生命**」
- 「**我々の賃金**を考える」
- 「**市更相**を考える」
- 「**仕事**がどうシノイでいくか」
- 「**原子力発電所**とわれわれ」
- 「**外国の下層労働者**」 など……

### 医療・健康については

- 「**飯釜ヶ崎の病気**について」
- 「**結核**はどんな時にかかるか？」
- 「**肝臓の病気**について」
- 「**アルユール中毒**について」
- 「**越冬と病気**」
- 「**釜から入院できる病院の実態**」
- 「**労働と職業病**」
- 「**健康とは**健康観をつくりかえよう」
- 「**ウマい飯**を食うための**作戦会議**」

### 歴史・文化などについては

- 「**釜ヶ崎の歴史**シリーズ」
- 「**メーデー**について」
- 「**落書き**に見る釜ヶ崎」
- 「**外国のスラム**」
- 「**暴動**二〇年・暑くて長い夏の唄」
- 「**個人史**を語る」
- 「**やさしい経済の話**」 など……

### 印刷・発行物

- 「**夜間学校ニュース**へ毎週セミナーなどで配布」
- 「**日雇い便利手帳**(1) やられつづけ
- 「**三文集**(詩・歌・小説など何でも)」
- 「**親睦会**も(レムボク)」

## 共に考え、築き、生きる

「**ぐち**を言うだけはいかん。そうしよう考えて**団結**せないと、**声**はいつも届きません。一人の問題と、**皆の問題**として共に考え、**学び、築き、**していく場が釜ヶ崎夜間学校なのです。

二年間 (1980年5月 ~ 82年3月)